

S4a

7月26日

13:30~14:50

会議室A+B+C

招待講演



森 正弥

楽天株式会社

楽天技術研究所

執行役員 兼 楽天技術研究所長

楽天における BigData の実践と、その先の展望

～ NextReality

プロフィール

慶應義塾大学 経済学部卒。アクセンチュア株式会社を経て、2006年に楽天株式会社入社。現在、同社 執行役員 楽天技術研究所 所長。未来ビジョン「サード・リアリティ」の策定と、電気通信大学とマルチメディア解析に関する一連の共同研究を担当。他、Ruby開発者まつもとゆきひろ氏との共同研究、国際高等研究所 2009年度研究プロジェクト「次世代情報サーチに関する総合的研究」も担当。

情報処理学会 学会員。同学会 DBS研究会 運営委員。電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会 専門委員。IPA Ruby 標準化検討WG 委員。総務省スマートクラウド研究会技術WG構成員。Rubyアソシエーション 運営委員。勉強コミュニティ GnZ代表。

著作に「クラウド大全」（日経BP社、共著）、「ウェブ大変化 パワーシフトの始まり」（近代セールス社）がある。

講演概要

楽天は、巨大なデータウェアハウスを構築し、長くデータ活用の試みを続けてきた。その結果、独自のレコメンデーションサービス・パーソナライゼーションサービスを実現してきたが、ここ数年、大規模分散処理技術の活用や、モバイル、特にスマートデバイスの普及によるデータ爆発によって、データ活用は新たな局面に入った。それがBigData Computingである。本講演では、楽天の従来データ活用と、今現在のBigData Computingの実践について、楽天だけでなく他社事例も含めつつその解説を行う。特にデータマイニング、商品ランキング、商品サーチ、広告配信、自然言語処理の事例に言及し、Hadoopや他の独自OSS技術の活用についても取り上げる。更には、今後、BigDataがいかに発展するかについて、将来本格化するO2O（Online to Offline）の動向を踏まえ、課題を指摘。来るべき未来「NextReality」において、企業はどのような技術活用をすべきかについて考察する。

S4a

7月26日

13:30~14:50

会議室A+B+C